



生活指導通信

No. 7

《身だしなみは他者へのマナー ～最近の学校生活より～》

最近の学校生活についてご報告いたします。現在、ほとんどの生徒がルールを守り、落ち着いて学校生活を送っております。しかしその一方で、ごく一部ではありますが、生徒間のトラブルや服装の乱れが見受けられました。（トラブルについては個別に事実確認と指導を行っております。）

特に服装（身だしなみ）について、最近以下の点が目立っております。

- ・ネクタイ、リボン、ブレザーの着用忘れ
- ・体育着（ジャージ）のチャックを開けたまま出歩く
- ・指定外の靴下（ライン入り等）の着用
- ・手足へのミサンガ等の装飾品の着用



こうした状況を受け、先日の朝礼で生徒全体へ話をしました。その際、アメリカのデザイナー、トム・フォード氏の次の言葉を紹介しました。

「身だしなみを整えることは、自分に対する敬意であり、同時に他者へのマナーである」

生徒たちには「服装を整えることは、周りの人に不快な思いをさせないための気配りであり、他の人のために整えるもの」と伝えました。学校という集団生活の場で、他者への思いやりとして身だしなみを意識してほしいと願っています。

保護者の皆様におかれましても、本校の指導方針にご理解いただき、朝ご自宅を出られる際に、お子様の服装を今一度ご確認・お声がけいただけますと幸いです。引き続き、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

《行事を通して見えた、生徒たちの「よさ」》

先日、合唱祭を無事に終わることができました。実行委員を中心に、生徒たちは本番に向けて練習を重ね、それぞれのクラスで一つの合唱をつくり上げました。当日は、これまでの練習の成果を発揮し、会場に素敵な歌声を響かせることができました。

学校行事の前には、楽しい気持ちが大きくなる一方で、気持ちが落ち着かなくなったり、友達との関わりの中で普段なら気にならないことが気になったりすることもあります。特に、行事に向けて一生懸命になればなるほど、気持ちが不安定になることもあります。

しかし、今回の合唱祭を通して改めて感じたのは、生徒たちがもっている「素直さ」と「一生懸命さ」です。思うようにいかないことがあっても、声を掛け合い、練習を重ね、最後まで頑張る姿がたくさん見られました。友達の意見を聞いたり、自分の役割を責任をもって果たしたりする中で、少しずつクラスがまとまっていく様子も感じられました。



行事が終わった今、私たち教職員は、合唱祭の結果だけではなく、そこに至るまでの一人一人の頑張りを大切

にしたいと思っています。うまくいったことだけでなく、悩んだこと、迷ったこと、友達とぶつかったことも含めて、今回の経験は生徒たちの成長につながっていくはずです。

そして、行事を無事に終えることができたのは、学校だけの力ではありません。行事前の不安定になりやすい時期に、ご家庭でもお子様の気持ちを受け止め、励まし、支えてくださったことと思います。学校で頑張る生徒たちの姿の陰には、ご家庭での温かな支えがあります。



保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今回の合唱祭を一つの節目として、生徒たちがまた次の目標に向かって、一歩ずつ成長していけるよう、教職員一同支えていきたいと思っています。

改めまして、合唱祭まで生徒たちを支えてくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

《未来の学校を創る新しい風 ～生徒会役員選挙・専門委員会引き継ぎ～》

先日、本校にて生徒会役員選挙が無事に終了いたしました。

壇上に立った各立候補者の演説はどれも情熱にあふれ、「上柚木中学校をもっとよくしたい」という強い思いが伝わってくる実に素晴らしいものでした。掲げられた公約を聞いていると、これからの学校生活がより一層充実したものになると確信させられる頼もしさを感じました。また、立候補者を支えた推薦人による応援演説も大変見事で、互いを信頼し合い、仲間の魅力を全校生徒に伝えようとする温かい姿勢が強く印象に残っております。

今回の選挙を経て、生徒会本部はもちろんのこと、各専門委員会も新たな体制へとバトンが引き継がれます。新しくリーダーとなった生徒たちには、これからの学校を引っ張っていく存在として、存分にリーダーシップを発揮してくれることを期待しております。

よりよい学校づくりは、リーダーの力だけでなく、周囲で支える生徒一人一人の協力があってこそ成り立ちます。ご家庭におかれましても、新しい役割に挑戦するお子様や、仲間を支えるお子様の背中を温かく見守り、励ましていただけますと幸いです。

今後とも、生徒たちの自主的な活動と成長を温かく見守っていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

